

岩屋中だより

令和6年12月18日 NO22

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

互いを大事にし、『知り→考え→行動する』人間に

12月10日(火)5・6校時に人権集会が行われました。人権集会では、各学年の学習成果の発表や人権に係るアンケート結果の発表、人権標語の紹介、本校の人権宣言の採択などが行われました。各学年の発表は、学年ごとに設定されたテーマに基づいて学習したことを学年の代表が発表しましたが、差別の実態やその差別解消のために考えたことなどを、情報機器を使用したり、演劇や歌などを使ってメッセージを発信したりして、表現しました。今年度の人権学習では、これまでの人権学習とは異なる視点で学び、そして考えを発信するなど、主体的で協働的な深い学びが一步進んだと考えています。様々な体験活動や講演会を通して学んだり、地域に目を向けユニバーサルデザインのあり方を調べて提言したり、全校社会科の時間で映像を視聴し、拉致という人権侵害の実態について知るなど、学びが多い日々を過ごすことができました。本号では、人権集会で私が生徒に話しをした際のスライドを紹介します。

日本国憲法第13条

すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

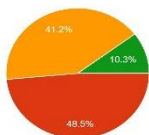
すべて人間の権利は守られ、幸せなのだろうか？

本当に皆が幸せなのだろうか？

予想

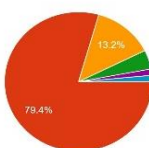
※各自、今、頭の中で考えましょう

1 今、世界中の人々は幸せだと思いますか？
68名の回答



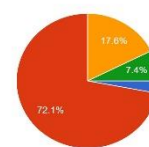
- みんな幸せだと思う。
- 幸せな人が多いが、そうではない人もいると思う。
- 幸せではない人が多いが、幸せな人もいると思う。
- みんな幸せではないと思う。

2 今、日本にいる人は幸せだと思いますか？
68名の回答



- みんな幸せだと思う。
- 幸せな人が多いが、そうではない人もいると思う。
- 幸せではない人が多いが、幸せな人もいると思う。
- みんな幸せではないと思う。
- わからない
- 外国の人は幸せではない人がいる

3 今、日本人は幸せだと思いますか？
68名の回答



- 日本人はみんな幸せだと思う。
- 日本人は、幸せな人が多いが、皆ではない人もいると思う。
- 日本人は、幸せではない人が多いが、幸せな人もいると思う。
- 日本人はみんな幸せではないと思う。

左記は、人権集会の時に私が話をする際に使用したスライドです。スライドだけでは、どのような話だったのかを完璧につかむことはできませんが、振り返るに参考資料にしながら、各ご家庭において、話題の一つにしてほしいと考えています。

当日は、まず、基本的人権の定義を簡単に確認しました。人権は最大限尊重されることを日本国憲法から引用し話をしました。権利が守られるということは、幸せに生きているということと解釈すると、人類・日本にいる人・日本人は本当に幸せなのだろうか？と一人一人目を閉じて考えるところからスタートしました。事前にクラスルームで配信し、68名の回答を得ていたので、その結果を示しました。

さて、どのような差別があるのか、私たちが目指すべき社会の姿などは、学年発表や標語、本校の人権宣言に盛り込まれ、しっかり学習していたので、次に必要な、『差別の解決のためには、**知ることから始めなければならない**』ことを指摘しました。各学年の学習から分かるように、『知り(気づき)』そして考えることは、私たちは毎年学習しています。そこから、**差別解消に向けて一歩進むためには、『行動する』という要素が大切**であり、『行動する』が必要であると生徒たちは気づいています。

しかし、私たちの言動を振り返ったとき、年齢に関係なく、この『行動する』という部分が弱いので、差別は解消せずに残っていると考えます。そこで、他人を傷つけ謝った行動をしている人を制止する(注意する)ことができるかという場面設定を意図的に行い、寸劇を行って、もしあなたが見ている人だったら……という立場で考えました。最初は個人で、その後、周囲の人と考えました。発表ができればよかったのですが、時間の関係で、次に進み、参考となるCMがネットにあることに触れました。スライドに記載されている**ACジャパンのCM**です。

様々な差別があり、すべての人が同じように幸せになる生活ができていない。

私たちが目指すべき社会は、共に生きていく社会
共生社会（難しい言葉ですね）
【別の言葉で】→ ○○○○○○○○○○○

今日の集会でも学びましょう

どのような差別があるのか実態を知る。
質問しようかな・・・

どのようにすべきか、私たちのあり方を学ぶ。

知らなければ、知らないからまた差別がおこる。差別が続く。
だから、**知ること（学ぶこと）は大変重要。**

（学び、実態に）**気づく**

（学び、私たちはどうすべきか）**考える**

次は行動することが大事です

もし、あなただったら・・・

今からの寸劇を見てください・・・
（YouTubeから）

A C 日本のCMで、コンビニを舞台とした『寛容ラップ』ぜひ自宅で見てみてください。
（教頭先生から教えてもらいました）

『気づき、考え、行動する』例が身近にあるのです

朝、はまだや（ネジ工場）付近で転び、おてこに石が食い込んで血が出るくらいのけがをした児童がいたそうです。
通りがかった本校の女子生徒が声をかけし、自分のポケットティッシュを袋ごと渡してくれたとのこと。

滑石小学校からのお電話で、名前も学年もわからなくて申し訳ないけれど、とてもありがたかったのというお電話が学校にありました。
優しさにあふれた行動です。他人の幸せにつながる行動です。勇気ある行動です。そのような生徒が身近にいるのは、嬉しいことです。

辛 + 一 = 幸

つらい状況に気づいたら、その人が幸せになるために何か一つ考え、行動する。

うれしい
憂 → 優

吐 叶

私たちは口から傷つく言葉を口から吐かず、マイナスの言葉をなくす＝人権を守ること
口には、情報機器も含まれる？含まれない？

目の前の小さなものばかり拾っていると、
その先の大きなものを拾いそこなう

そんなの（こと）どうでもいいでしょう、そんなことしたって何にもならんよ・・・というようなこと

小さいものばかりで手がいっぱいになって・・・

人生の中で、自分が本当に手に入れたいというもの（幸せな人生をおくるために必要なもの・・・）

大きなもの（大事なもの・こと）手に入れることができない

『寛容ラップ』で検索すると出てくるでしょう。よければ、各ご家庭で、親子でそのCMを閲覧してほしいと思っています。私は教頭先生からその情報を得て、これは生徒に是非伝えねば!と思い紹介しました。必ず学びがあるはずで。YouTubeにアップされています。

さて、様々な差別の解決に向けて『行動する』ことが第一歩であること、ならびに、困っている人に対してとった行動の身近な例を紹介しました。それは、本校生徒が登校中の小学生に対してとった優しい行動です。詳細は、スライドに記載しています。『**行動する**』というのは、**私たちの生活からかけ離れたところにあるのではなく、身近にあると考えます。辛い場面に遭遇したら、その相手にとってプラスになることを行うと（辛いという字に一プラスすると幸せという字になる）幸せになること、そして、悩み、苦しんでいる人に（憂いの状態）に、人が寄り添う（憂いという字に人が寄っていく）とそれは『優しさ』になることを本校生徒の心温まる行動から改めて認識しました。アンケートでも出てきた『悪口、陰口』は人間関係を崩し、いじめの原因にもなるものです。**口から出るマイナスの言葉をなくす（口から吐くマイナスをなくせば、叶うという字になる）つまり、幸せが叶うと解釈しています。**人権集会にて話したこと振り返りながら記してきました。最後のスライドについては、別の機会に触れようと思います。**